

平成 23 年度事業計画

平成 23 年 4 月 1 日より、柏崎薬剤師会は一般社団法人として再出発するわけであるが、当初の公益目的支出計画に沿って、23 年度もこれを遂行していく考えである。具体的には、8 月に市民向け上映会等の企画が出されている。また、平行して、将来にわたる会の健全な運営をはかる意味においても、さらなる組織強化は不可欠である。特に、これからの柏崎薬剤師会を担う若手の人材育成に力を注ぎたい。

22 年度から薬学 5 年生による約 3 ヶ月間の薬局実務実習が開始されたが、23 年度も実習生受け入れ薬局に対して、柏崎薬剤師会としても引き続き支援策を検討していきたい。

毎年的人口減のなかで、県内でもとりわけ高齢化が進んでいる柏崎刈羽地域において、薬剤師の在宅医療支援の必要性は増す一方である。今年度は、すでに活動を開始している薬局の経験を学ぶ機会を持つなど、具体的な取り組みを開始したいと考える。

休日夜間調剤事業は 5 年目に入り、安全安心な市民生活の一翼を担ってきたといえる。23 年度も引き続き協力していきたい。

1) 会の組織強化

一般社団法人への移行及び登記完了、それに沿った公益支出計画の遂行、及び会営薬局の健全な運営について引き続き検討を加える。

会員へのサポートと非会員への入会促進。

2) 支援センター機能の強化

小分け事業の継続、また後発医薬品の取り揃えについても検討。

3) 薬学生実務実習の推進

薬学生受け入れ体制の整備・充実と、地域ぐるみでの積極的な支援。

4) 学術・生涯教育の充実

学術大会で発表する会員へのサポート、また聴講する会員への参加支援。

5) 市民への啓蒙活動

健康フェアなどへの参加、市民への薬の適正使用の啓蒙

6) 在宅医療への対応と推進

薬局における在宅支援のあり方を考え、他職種との積極的な情報交換を図る。